

大阪ガスとリープトンエネルギーによる FIP 発電所からの電力買取に関する契約締結について  
～FIP 制度下における再エネ開発事業者の収益安定化に資する取り組みの拡大～

2023 年 3 月 1 日

大阪ガス株式会社

リープトンエネルギー株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）とリープトンエネルギー株式会社（代表取締役：周 鳴飛、以下「リープトンエネルギー」）は、リープトンエネルギーが開発・保有する「FIP (Feed-in Premium) 制度」を活用した複数の太陽光発電所（以下「FIP 発電所」）に由来する電力・環境価値について、大阪ガスが相対取引により長期買取する契約を、本日締結しました。年間 5,000kW 以上を目標として、両者は継続的な再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電源開発・活用を目指します。

FIP 制度は、再エネの普及を目的に 2012 年に導入された「固定価格買取 (FIT : Feed-in Tariff) 制度」に代わる制度であり、再エネの自立電源化を目的として 2022 年 4 月から導入されています。FIP 制度下では、発電事業者において、インバランス\*<sup>1</sup>管理や市場への電力・環境価値の売買等の業務に加え、これらに伴う収益変動リスクへの対応が求められます。

大阪ガスは、2020 年より開始した新設非 FIT 太陽光発電所からの電力買取や小売り事業への活用、独自の気象予測技術\*<sup>2</sup>を用いた発電量予測等、多くの再エネ事業ノウハウを有しています。そのノウハウを活用し、発電事業者の業務負荷と収益変動リスクを軽減するための取り組み（以下「本取り組み」）を開始しております。

今回大阪ガスは、発電事業者であるリープトンエネルギーと、FIP 発電所からの電力買取に関して業務提携（以下「本業務提携」）を行い、本取り組みをさらに拡大します。

本業務提携では、リープトンエネルギーが開発・保有する FIP 発電所（既認定 FIT から FIP に移行する発電所および今後新たに認定を受ける FIP 発電所）に由来する電力・環境価値を、大阪ガスが安定した電力事業基盤を活かして固定単価で長期間購入します。さらに再エネ事業ノウハウを活用し、インバランス管理やお客さまへの供給をはじめとする電力・環境価値の取引をリープトンエネルギーに代わり大阪ガスが行うとともに、インバランス料金や電力・環境価値の収益変動リスクを負担します。

リープトンエネルギーは、本業務提携により再エネ開発投資の収益予見性を高めることで、一層の事業規模拡大を図ることができます。大阪ガスもリープトンエネルギーの継続的な再エネ電力買取により、さらなる再エネ事業規模の拡大に繋がります。

Daigas グループは、2030 年度までに、自社開発や保有に加えて、他社からの調達も含めて、国内外で 500 万 kW\*<sup>3</sup>の再エネ電源の普及に貢献することを目指しており、現時点で自社開発・保有および他社からの調達を含めた再エネ電源の普及貢献量は約 195 万 kW です。

リープトンエナジーは、2012 年より参入した再生可能エネルギー事業において、自社工場で太陽電池モジュールと架台の製造を行っており、高い品質\*<sup>4</sup>と安定供給力を強みとしています。現時点で国内外に保有する自社発電所は 76 件（約 2.6 万 kW）です。

両者は今後も、リープトンエナジーの再エネ電源開発力と大阪ガスの事業基盤・ノウハウを組み合わせることで継続的に再エネ開発・規模拡大を進めるとともに、再エネ電力の供給を通じて再エネ電源の自立化、ひいては脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

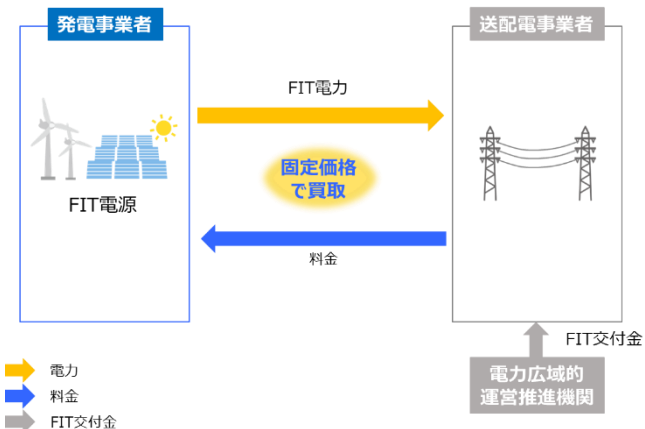
- \* 1：発電計画値と発電実績値の差分。FIP 制度では、発電事業者は、非 FIT 発電所と同様に事前に提出した発電計画値と発電実績値の差分に応じたインバランス料金を一般送配電事業者に支払う必要がある。
- \* 2：予測対象地域を高解像度の小さなメッシュに区切ってデータ解析を行うことで地形影響等を考慮したきめ細やかな予測が行うことができるとともに、観測データに基づく機械学習も組み合わせることで高精度化を図っている点が特長。
- \* 3：再エネには、太陽光、風力、バイオマス等の FIT 制度の適用電源を含む。
- \* 4：リープトンエナジーの太陽電池モジュールは、Bloomberg New Energy Finance (BNEF) が四半期ごとに、「Tier1=トップクラス」と定め、発表する「Tier1 リスト」に 10 回選出されており、国内外でそのクオリティが認められている。

### 1. FIP 調達によるビジネスモデル

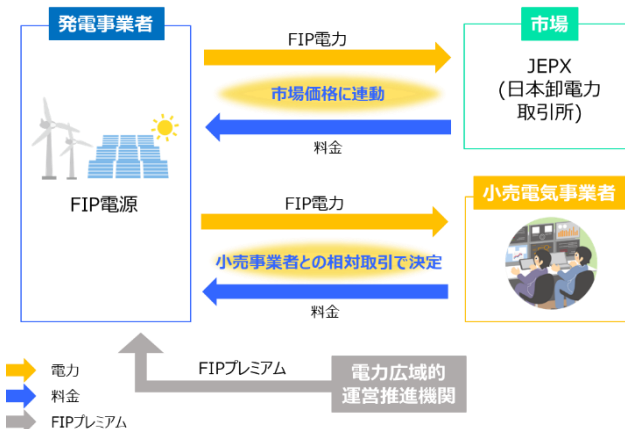


(ご参考) FIT 制度と FIP 制度の違い

■FIT 電源



■FIP 電源



FIP 制度では、発電事業者が電力・環境価値を卸電力取引市場等で売買して得る収益とは別に、FIP プレミアム (FIP 基準価格と参照価格の差額) が電力広域的運営推進機関より交付される。FIP 基準価格は発電所毎に原則として入札制度により決定される (FIT 制度の下で既認定しているものが FIP 制度へ移行する場合については、基準価格は FIT 調達価格から変更されず、また、交付期間は、FIT 調達期間の残存期間とされる)。参照価格は市場価格に連動し、1 カ月単位で見直される。

2. リープトンエナジーが保有する太陽光発電所



茨城県茨城町太陽光発電所  
(設備容量 : 1,050kW)



埼玉県滑川町山田太陽光発電所  
(設備容量 : 1,870kW)

3. 会社概要

<大阪ガス>

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 会社名   | 大阪ガス株式会社            |
| 本社所在地 | 大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号 |
| 代表者   | 代表取締役社長 藤原 正隆       |
| 資本金   | 1,321億6,666万円       |
| 設立日   | 1897年4月10日          |
| 事業概要  | ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等 |

<リープトンエナジー>

|       |   |
|-------|---|
| 会社名   | リープトンエナジー株式会社   |
| 本社所在地 | 兵庫県神戸市中央区相生町一丁目2番1号 東成ビルディング6F                          |
| 代表者   | 代表取締役 周 鳴飛  |
| 資本金   | 499,990千円   |
| 設立日   | 2012年7月   |
| 事業概要  | 太陽光発電システムの開発・販売、太陽光モジュールや取付部材の製造・販売、太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス |

以上

■報道関係の方のお問い合わせ先

大阪ガス株式会社 広報部報道チーム

: 電話 06(6205)4515

リープトンエナジー株式会社 広告企画部

: 電話 078(382)3182